

魚類学 英単語 + 説明

Osteichthyes	硬骨魚綱	骨格の大部分が軟骨性硬骨から成る魚類の分類群。鯨を持つのが大半。
Chondrichthyes	軟骨魚綱	内骨格は角柱顆粒状石灰軟骨から成る魚類の分類群。全頭垂綱(ギンザメ類)と板鰓垂綱(サメ・エイ類)から成る。
endoskeleton	内骨格	
ammocoetes	アンモシーテス	ヤツメウナギの幼生。
taste buds	味蕾	味覚を受容する器官。
synapomorphy	共有派生形質	ある生物群を特徴づける派生形質。
spiral valve	らせん弁	軟骨魚類や肉魚類の腸にあり、腸壁の表面積を増やして消化・吸収の効率を上げている。
rectal gland	直腸腺	軟骨魚類やシラカンスの直腸にある、過剰な塩分を排出するための器官。
statoconia	平衡石	軟骨魚類の内耳にある、音や振動、圧力を感じるための器官。
spiracle	噴水孔	無顎類や無顎類のはリン酸カルシウム、軟骨魚類のは炭酸Ca。
tapetum lucidum	タペータム	深海性の魚類がよくもつ、一度入れた光を反射し、再び光受容器を刺激することで、少ない光を効率的に利用するための器官。
nictitating membrane	瞬膜	サメ類にある、眼球を保護するための膜
ampullar of Lorenzini	ロレンツニ瓶	軟骨魚類にある、微弱な電流を感知する器官。餌の発する微弱電流や海流や地磁気を検知する。
lecithotrophy	卵黄栄養依存	
matrotrophy	母体栄養依存	
Sarcopterygii	肉魚者垂綱	硬骨魚綱の1つであり、現生種にはシラカンスとハイギョの仲間。
Actinopterygii	条鰭垂綱	硬骨魚類の1つであり、現生魚類の大半の種がこの条鰭垂綱。
endochondral bone	軟骨性硬骨	石硬骨魚類の内骨格は、この軟骨性硬骨と皮膚の組み合わせ。
dermal bone	皮膚	側線はこの皮膚の中を通る。
cloaca	総排出腔	排泄器官と生殖器官が1つの穴に含まれているもの。
adaptive radiation	適応放散	同一系統の生物が異なる環境にそれぞれ適応して分化する現象。
pyloric caecum	幽門垂	真骨類と一部の軟骨魚類の腸の始部の境界付近にある盲嚢で、腸と同じ構造をもち、消化・吸収機能をもつ。
sagitta	扁平石	真骨類の耳石器官のうち、小囊の中に含まれる耳石。一番大きな耳石であり、日齢・年齢推定に用いられる。
luminescent organ	発光器官	仲間の誘引や認識、群れの形成、雌雄の識別に用いる器官 「発光することで、
leptocephalus	レプトケファルス	ウナギ目魚類の仔魚。以前は別の種とされていた。
gill raker	魚思耙	無顎類を除く魚類の鰓弓の内縁に並ぶ突起。食性による程度関係があり、分類形質としても用いられる。